

TOYO No.1880-2 防毒マスク(直結式小型 半面形)	国家検定合格番号:第TN342号
取扱説明書	
<p>■この度は当社製防毒マスク(有機ガス用直結式小型)をお買い上げ頂き、お礼申し上げます。防毒マスクを使用する前にこの説明書及び吸収缶に添付の取扱説明書を最後まで読んで頂き、充分ご理解の上使用して下さい。</p> <p>【この説明書は読んだあと大切に保管して下さい。】</p> <p>■疑問や不明な点がございましたら、右記の当社消費者相談室までご連絡下さい。</p> <p>■この説明書を紛失した場合も同室までご請求下さい。</p>	<p>【発売元】 株式会社 トヨセフティ 兵庫県三木市所野町21-1 三木工場公園 URL: http://www.toyo-safety.co.jp</p> <p>消費者相談室 TEL.0794-83-0155 日本呼吸用保護具工業会会員</p> <p>【製造元】 東洋物産工業株式会社</p>

【使用範囲】

本品は環境中の有機ガス(蒸気)吸入を防ぐ為に使用する防毒マスクです。下記の環境下では絶対に使用しないで下さい。また、作業環境中のガスの種類によって吸収缶の種類は変わります。吸収缶の取扱説明書を読み、作業環境に適した吸収缶を使用して下さい。

危険	防毒マスクは下記の使用範囲を絶対にお守り下さい。 下記の使用範囲を守らないと死亡又は重症に至る可能性が高くなります。
-----------	---

- ①作業環境中の酸素濃度が18%以上であること。
- ②作業環境中の有機ガス濃度が0.1%以下であること。
ただし、有機ガス濃度が暴露限界※の10倍以下であること。
尚、1日の作業時間が30分未満ならば暴露限界※の30倍以下。
※暴露限界には日本産業衛生学会が勧告する許容濃度値を適用します。
ただし、許容濃度が定められていない場合は、ACGIHの勧告するTLV-TWA値を適用します。
- ③有機ガス用吸収缶で除毒できるガスであること。
- ④鉱物性粉じん等、粒子物質を吸入することにより人体に害を及ぼすおそれがある場所では使用できません。
- ⑤下記の作業環境では絶対に使用しないで下さい。
 - ・有機ガス濃度が不明な場合又は高濃度の場合。
 - ・ガスの種類が不明な場合。
 - ・有機ガス用吸収缶で除去できないガスが混在する場合。
- ⑥クロルピクリン等(土壌くん蒸用)の農薬に使用できます。ただし、臭化メチル,DDVPには使用できません。また、粉剤、液剤の農薬にも使用できません。

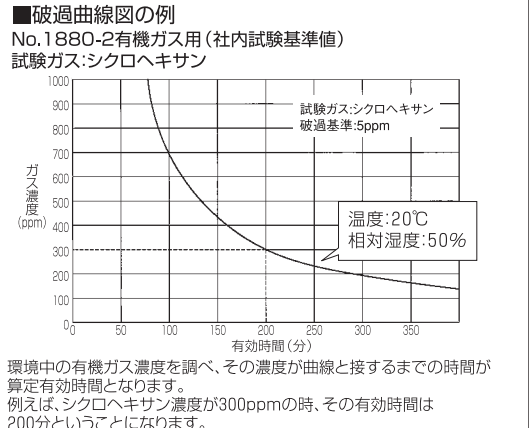
危険	防毒マスク本来の機能を発揮する為に下記事項をお守り下さい。 下記の事項を守らないと死亡又は重症に至る可能性が高くなります。
-----------	--

- ①顔面と接顔部の間に入るようなひげ、もみ上げ、前髪をたらした状態では使用しないで下さい。気密が保てず有機ガスが流入するおそれがあります。
- ②呼吸器系及び循環器系に疾患がある場合、また、産業医が不適当と認めた場合は使用しないで下さい。
- ③眼に刺激性のあるガス等の存在する環境では全面形の防毒マスクを使用して下さい。

【吸収缶の有効時間について】(吸収缶に添付している取扱説明書も必ず熟読して下さい。)

吸収缶は使用限度を超えると全く除毒能力が無くなります。この有効時間を把握することが重要です。下記のいずれかに該当する場合、新しい吸収缶と交換して下さい。

- 破過曲線図による算定方法**
吸収缶の有効時間は環境中の有機ガス濃度によって大きく左右されます。環境中の有機ガス濃度と有効時間の関係をグラフで表したものが吸収缶に添付している取扱説明書に記載している破過曲線図です。
使用時間が破過曲線図で示す算定時間に達した時点で吸収缶を新しいものと交換して下さい。
また、短時間でくり返し使用する場合、一定の濃度であれば吸収缶に添付している使用時間記録欄に使用した時間を記録し、通算使用時間が算定有効時間になったら直ちに新しい吸収缶と交換して下さい。
- 臭気による判定**
使用中に臭気を感じたら直ちに新しい吸収缶と交換して下さい。
ただし、嗅覚には個人差があります。
また、徐々に漏れてきた場合、嗅覚等が麻痺するので、この方法だけに頼るのは危険です。
- 吸気抵抗による判定**
除毒能力が残っていても吸気抵抗(息苦しさ)が上昇した時は直ちに新しい吸収缶と交換して下さい。



危険	下記の事項を守らないと死亡又は重症に至る可能性が高くなります。
-----------	---------------------------------

- ①衛生管理者、作業主任者等の労働衛生に関する知識及び経験を有する者の内から、作業場毎に防毒マスクを管理する保護具着用管理責任者を指名し、防毒マスクの適正な選択、着用及び取扱方法について必要な指導を行わせるとともに、防毒マスクの適正な保守管理に当たらせて下さい。
- ②吸収缶の交換基準、使用の範囲等については必ず吸収缶に添付している取扱説明書も参照して下さい。
- ③破過曲線による算定方法は、あくまでも目安です。安全を考え余裕を持って新品と交換して下さい。
また、有効時間は呼吸量、湿度、温度等によっても左右されます。
※高湿度、高温の場合、著しく性能が低下します。
- ④上記の破過曲線は国家検定規格に規定された試験ガスによるものです。同一の吸収缶でも有機ガスの種類により有効時間が異なります。
※メタノール、二硫化炭素等は有効時間が短くなります。
- ⑤算定有効時間内でも有機ガスの臭気、刺激、味覚を感じた時は、直ちに清浄な空気の得られる環境に避難し、新しい吸収缶と交換して下さい。
- ⑥必ず使用前にフィットテストを行って下さい。
- ⑦臭気だけによる判定は危険です。嗅覚には個人差があります。また、徐々に漏れている場合は嗅覚が麻痺します。
- ⑧使用前、吸収缶に亀裂、変形、破損がないことを確認して下さい。
- ⑨使用前、保存期限を過ぎていない吸収缶であることを確認して下さい。(製造年月日から2年です。)
製造年月日より2年を経過した吸収缶は使用しないで下さい。
- ⑩防毒マスク使用中に身体に異常を感じた時は、直ちに清浄な空気の場所に避難し、医師の手当を受けて下さい。

危険	下記の事項を守らないと死亡又は重症に至る可能性が高くなります。	【構造及び各部の名称】
<ul style="list-style-type: none"> ①有機ガス用吸収缶は算定有効時間の1/3以上使用したものを5日以上保管すると残存使用時間が著しく短くなる場合があります。 このような場合は早めに新しい吸収缶と交換して下さい。 ②臭気だけによる判定は危険です。嗅覚には個人差があり、また、徐々に漏れている場合は嗅覚が麻痺します。 特に、著しく毒性が高い物質や高濃度の環境又は臭いの少ないガス等に対しては臭気による判定は危険です。 		

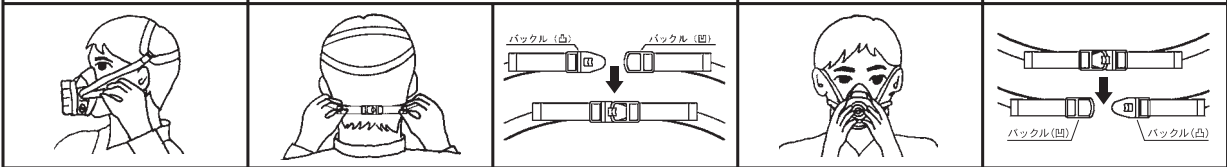
警告	下記の点検方法を守らないと重症に至る可能性が高くなります。
-----------	-------------------------------

- ご使用前に必ず【点検の仕方】に従い、点検を実施して下さい。**
- 吸収缶は湿度を嫌いますので、新品の場合は使用する直前まで包装を破らないで下さい。**

- ①吸収缶の包装を破り、吸収缶と取扱説明書を取り出します。(吸収缶の取扱説明書の内容もよく理解して下さい。)
 - ②吸収缶を図のように、吸収缶ホルダー部の溝に合わせ、右に回し、奥までしっかりと締め込みます。
 - ③吸収缶の「ぐらつき」がないことを確認して下さい。
-

【マスクの付け方、外し方】 有害物質のない清潔な場所で行って下さい。

①サポーターを頭部に掛け、マスクを顔面に当てて下さい。	②バックルの凸と凹を首の後ろでしっかりと引っ掛けて下さい。	③上下左右にマスクを動かし、顔面にフィットさせて下さい。	【外し方】 外す時は、バックルを外して下さい。
-----------------------------	-------------------------------	------------------------------	-----------------------------------



危険	下記のフィットテストの方法を守らないと死亡又は重症に至る可能性が高くなります。
-----------	---

- ①**フィットテストは使用前に必ず実施して下さい。**
- ②**正しく装着されていないと顔面と面体のすき間からガスが漏れ込みます。**

- ①マスクを着用してフィットチェッカーで吸収缶を塞いで下さい。
 - ②フィットチェッカーを付けたまま息を吸い、面体と顔面の隙間などから空気が流入しないか確認して下さい。
 - ③息を吸い、手を放してもフィットチェッカーが落ちなければ気密は良好です。
 - ④面体と顔面の間等から空気の流入が感じられましたら、再チェックを実施して下さい。
※排気弁を中心に各部の再点検、しめひもの調節、マスクの適正な位置の調整。
 - ⑤気密が良好なことが確認できましたら、フィットチェッカーを外し、作業を開始して下さい。
-

警告	下記の使用方法を守らないと重症に至る可能性が高くなります。
-----------	-------------------------------

- ①タオル等を顔にあてた上から装着しないで下さい。また、接顔メリヤスも使用しないで下さい。ガスが面体内へ漏れ込みます。
- ②しめひもを強く締め過ぎるとフィット感が悪くなり、長時間の作業では不快になる場合があります。注意して下さい。
- ③マスク使用により、顔面の肌荒れ、湿疹等アレルギー症状が発生した場合、使用を中止し、医師に相談して下さい。
- ④吸収缶に振動や衝撃を与えないで下さい。機能低下、破損の原因になります。

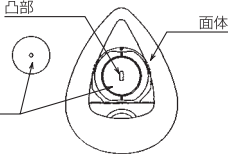
危険	下記の交換方法、点検方法を守らないと死亡又は重症に至る可能性が高くなります。
-----------	--

【吸気弁、排気弁、しめひもの交換の目安】

- ①吸気弁、排気弁等に破損、亀裂、著しい変形が認められた時は新しい部品と交換して下さい。
- ②しめひもが劣化等により、弾力性を失い、収縮不良が認められた時は新しいしめひもと交換して下さい。

【吸気弁、排気弁、しめひもの交換方法】有害物質のない清潔な場所で行って下さい。

- (1)排気弁**
- ①面体を内側に折り曲げます。
 - ②排気弁を指でつまみ、引き抜いて下さい。
 - ③新しい排気弁を取付ける際は弁芯を排気弁座の中央の穴に通します。
マスクの内側に弁芯が突き出ますので、指でつまんで凸部が出るまで引っ張って下さい。
 - ④排気弁を取付けた後、ホルダーを面体にかぶせるようにして下さい。
注意:排気弁座にキズを付けないで下さい。(性能が低下します。)
-

<p>【(2) 吸気弁】</p> <p>①吸気弁をつまんで外して下さい。 ②新しい吸気弁の中央の穴を吸気弁座の突起に取付けて下さい。 ※正しく取付けられていることを必ず確認して下さい。</p> 	<p>【(3) しめひも】</p> <p>①しめひもの構造を把握して下さい。 ②ハサミ等でカットする等して外して下さい。 ③新しいしめひもを取付けて下さい。 ④サポーターの向き、しめひものねじれに注意して下さい。 尚、詳細な取付け方法はしめひもの取扱説明書を参照して下さい。</p>
---	--

【吸収缶の交換方法】 有害物質のない清潔な場所で行って下さい。										
<p>①取付けることができる吸収缶は右記の型式の名称・型式検定合格番号です。 右記以外の型式の名称・型式検定合格番号の吸収缶、他社製吸収缶は使用しないで下さい。 ②吸収缶の取付け方法については前ページの【使用方法】を参照して下さい。</p>	<table border="1"> <tr> <td>品 番</td> <td>No.1882</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>有機ガス用防毒マスクの吸収缶</td> </tr> <tr> <td>型式の名称</td> <td>TOYO No.1880-2</td> </tr> <tr> <td>型式検定合格番号</td> <td>第TN342号</td> </tr> </table>	品 番	No.1882	種 類	有機ガス用防毒マスクの吸収缶	型式の名称	TOYO No.1880-2	型式検定合格番号	第TN342号	
品 番	No.1882									
種 類	有機ガス用防毒マスクの吸収缶									
型式の名称	TOYO No.1880-2									
型式検定合格番号	第TN342号									

点 検 個 所		判 定 基 準	不 具 合 時 の 処 置
面	体	亀裂、変形、ピンホール、ゴムの劣化によるベタツキ、著しい汚れ等がないこと。	マスクを新品と交換して下さい。 また、汚れがある場合は清掃して下さい。
吸 取 缶	ホ ル ダ ー	亀裂、変形、ピンホール、著しい汚れ等がないこと。	
排 気 弁	座	キズ、亀裂、変形、著しい汚れ等がないこと。	
ゴ ム	パ ッ キ ン	キズ、亀裂、変形、ピンホール、著しい汚れ等がないこと。	新しい部品と交換して下さい。 また、汚れがある場合は清掃して下さい。
吸	気 弁	亀裂、変形、ピンホール、ゴムの劣化によるベタツキ、著しい汚れ等がないこと。	
排	気 弁	亀裂、変形、ピンホール、ゴムの劣化によるベタツキ、著しい汚れ等がないこと。	
しめひも	ゴ ム ひ も 部	十分に弾力があり、締め付けに必要な強度があること。	新しいしめひもと交換して下さい。
	サ ポ ー タ ー	亀裂、変形、著しい汚れなどがないこと。	
	パ ッ ク ル	亀裂、変形、欠損等がないこと。しめひもが固定できない。	
吸 取 缶	外 観	変形、ピンホール、著しい汚れ、吸水等がないこと。	新しい吸収缶と交換して下さい。
	に お い	ガス臭や異臭がないこと。	
	残 存 時 間	再使用の場合は残存時間が残っていること。(使用時間記録の確認)	
	種 類	環境中の有毒ガスの種類に適合したものであること。	適応吸収缶を装着した防毒マスクを用意する。

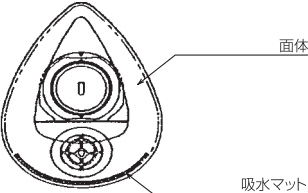
⚠ 警告	下記の部品のお手入れの方法を守らないと重症に至る可能性が高くなります。
【使用後のお手入れ】	
<p>①有害物質等のない清潔な場所で行って下さい。 吸収缶：乾いた布で拭いて下さい。水で洗わないで下さい。 ②吸収缶以外については下記に従って下さい。</p> <p>●付着した汚れは乾燥又は軽く水で湿らした布でキズを付けないように拭いて下さい。 ●著しい汚れはぬるま湯で薄めた中性洗剤でキズが付かないように洗ってください。特に排気弁、吸気弁等には注意して下さい。 尚、中性洗剤は完全にすすぎ落として下さい。 ●洗った後は充分水分を拭きとり、陰干をして下さい。 ●顔面に触れる部分、マスクの内側等は消毒用アルコールを布等に含ませ、消毒して下さい。</p> <p>①接顔部は常に清潔にして下さい。(接顔部の汚れは、肌荒れ、かぶれの原因となります。) ②消毒用アルコール使用後は充分乾燥させて下さい。 ※顔面の肌荒れ、湿疹等アレルギー症状が発生した場合、使用を中止し、医師に相談して下さい。</p>	

⚠ 危険	下記の保管方法を守らないと重症に至る可能性が高くなります。
【保管方法】	
<p>保管場所：お手入れ後は、温度差の激しい場所や湿度の高い場所は避け、面体、しめひも等に亀裂、変形等の異常が発生しないよう、乾燥した状態で保管して下さい。 また、保管時は直射日光の当たらない場所に専用の保管場所を設け、保管状態が容易に確認できるようにして下さい。</p> <p>①吸収缶の保存期間は製造年月日より2年です。 製造年月日より2年を経過した吸収缶は使用しないで下さい。 ②使用済みの吸収缶は吸収剤に吸着された有害物質が遊離防止又は、吸収剤が吸収缶外に飛散しないように密閉性の高い袋等に詰めて産業廃棄物として廃棄して下さい。 ③直射日光を避け、有毒ガスのない乾燥した冷暗所に外気を遮断して保管して下さい。 ④高温、高湿の環境で保管しないで下さい。</p>	

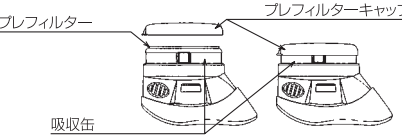
【性能】	
品 質 項 目	社内基準値
吸 気 抵 抗	50 Pa以下
排 気 抵 抗	80 Pa以下
重 量	91±10g

※上記の数値は、吸収缶等を取付けていない時の性能です。

【オプション品について】	
<p>●TOYO No.1880-2用吸水マット(使い捨てタイプ) …面体内に呼気による汗や水分が溜まる場合に使用します。(別売り No.1887 取替え用吸水マット・10枚入り)</p> <p>●プレフィルター(塗装時用) …塗装時の塗料のミストによる吸収缶(活性炭)の目詰まりを防ぐための使い捨てフィルターです。(別売り No.1884 取替え用プレフィルター・10枚入り)</p>	

<p>【吸水マットについて】</p> <p>(1)使用方法</p> <p>◎この吸水マットはTOYO No.1880-2防毒マスク専用吸水マットです。 ◎面体内に呼気による汗や水分が溜まる場合に使用します。 ①マスク接顔部の内側を指で広げます。 ②吸水マットを面体の底に合わせて入れます。</p>	
--	---

(2) 交換の目安	
<p>①著しく破損した場合に交換して下さい。 ②著しく汚れた場合に交換して下さい。</p>	
(3) 交換の方法	
<p>①吸気弁、排気弁の作動に支障がないように面体内の底に入れて使用して下さい。 ②吸気弁、排気弁を傷つけないようにして下さい。</p>	

<p>【プレフィルターについて】</p> <p>(1)使用方法</p> <p>◎塗装の際、活性炭に塗料が固着して目詰まりを起こしますので、このプレフィルターと併用して下さい。 ①吸収缶の表面の中央にプレフィルターを置きます。 ②プレフィルターキャップを吸収缶に取付けます。</p>	
---	---

(2) 交換の時期、保管方法	
<p>①プレフィルターは使用毎に交換して下さい。 ②使用中もプレフィルターが汚れていないか、目詰まりを起こしていないか、充分確認して下さい。 ③プレフィルターが正しく取付けられていることを確認して下さい。 ④未使用のプレフィルターはビニール袋等に入れ、保管して下さい。</p>	